

クロマツ探検隊Ⅱ

7月9日(月)酒田市光ヶ丘及び宮海のクロマツ林で「クロマツ探検隊Ⅱ」を実施しました。当日は、梅雨も一休みなのか、園児達の晴れて欲しいとの願いが届いたのか、朝方の雨は治まり、くもり天気少し蒸し暑い日となる中、年長組園児31名、保育園先生4名、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター4名、庄内森林管理署1名、万里の松原に親しむ会3名、総勢43名で行いました。

出発式では、園児達が探検隊のルールについて学び、探検隊の隊長に保育園の先生が、隊長補佐に朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター及び庄内森林管理署職員、万里の松原に親しむ会員が任命され、園児の皆さんは隊員に任命されました。隊員の皆さんは、隊長の号令を合図に保育園のバスに乗りクロマツ探検に向かいました。

万里の松原では、森林ボランティア団体「万里の松原に親しむ会」の三沢会長さんと会員の方々が隊員の皆さんを温かく出迎えてくれました。隊員の皆さんは、三沢会長から万里の松原の歴史や保全活動について説明を受け、「ここは昔、砂丘だったこと」、「ここにあるクロマツは全て人の手で植えたもので、多くの女性の労働力があつたこと」、などを聞いて驚いていました。その後、万里の松原歴史看板の前で記念撮影を行い、三沢会長の案内で万里の松原の探検に出発しました。途中、「しんちゃんの森」にあるクロマツよりもずっと太くて大きい木を見て驚いたり、会の方々がボランティアで整備した旧秋田街道では、歩道に敷いてあるウッドチップの上を歩き、ぷくぷくとした自然の感触に触れ、隊員の皆さんの賑やかな声がクロマツ林の中に響いていました。

万里の松原を後にした探検隊は、次に酒田北港へ向かいました。予定ではここにある緑地展望台から庄内海岸林を眺めるつもりでしたが、生憎の休館日のため見るできませんでした。その代わりに宮海海水浴場に行き、そこで最前線のクロマツ林を見ることができました。ここから見えるクロマツ林は小さく、傾いていて一見弱々しく見えます。しかし、このクロマツ林や砂草地の植物こそが海から吹く強風や砂から地域を守っており、例えて言うなら最前線で戦っている兵士みたいなものであると説明をしました。隊員の皆さんは、最前線のクロマツ林と宮海の海に感謝と励ましの意味を込めて、大声で「ありがとう」と叫びました。さぞかし、クロマツ林も海も喜んでいることでしょう。

こうして、隊員の皆さんは宮海から保育園へと戻り、閉会式を行いました。総隊長(園長先生)からクロマツ林にも大きく太いものや小さくて傾いても強いものなどいろいろなクロマツ林を見ることが出来て良かったと挨拶がありました。ある女の子の隊員は、「めちゃ楽しかった」と感想を述べてくれて、担当者としては、何よりの励みとなりました。隊員の皆さんは、7月20日に宮海海水浴場の海開きで、宮海太鼓を演奏する予定になっています。この日に立派な演奏ができるよう一生懸命練習に励むことを誓ってもらって、「クロマツ探検隊Ⅱ」を終了しました。



万里の松原歴史看板の前でクロマツ林の説明を聞く隊員たち



宮海海水浴場から眺める最前線のクロマツ林